

シラカワボウフウ

学名 *Peucedanum terebinthaceum* (Fisch.) Fisch. ex DC. var. *deltoideum* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布の南限域にあたる。本県の生育地は狭くて点在し、個体数も少ない。主として火山性高原に生育する。植林や草原開発などで消滅した生育地があり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(東北部), 朝鮮半島, ウスリー, アムール, 東シベリア
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	生育地が草原開発で消滅したり, 植林されて植生が変わったりして, 消滅した生育地が多い。
備 考	北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。